

第Ⅳ章 市民等意識調査結果の集約

1 景観市民アンケート調査

市民の意向を把握するため、3種の景観に関するアンケート調査を実施しました。

(1) 調査の概要

①一般市民対象アンケート調査

- ・2007年10月実施
- ・20歳以上より2,500人を無作為抽出
- ・郵送配布及び回収
- ・回収数：781、回収率：31.2%

②中学生対象アンケート調査

- ・2007年11月実施
- ・瑞穂中学校及び南中学校の2年生全員
- ・学校での手渡し配布及び回収
- ・回収数：365

③事業者対象アンケート調査

- ・2007年10～11月に4回実施
- ・商工会会合での手渡し配布及び回収
- ・回収数：115

(2) 調査結果の分析

①市の景観イメージ（一般・中学生・事業者）

- ・一般では「水辺」、「大規模構造物」、「大規模団地」、「田園風景」の順となり、この4項目の回答が特に多くなりました。
- ・中学生では、「緑」、「大規模構造物」、「田園風景」、「大規模団地」、「水辺」の順となり、この5項目の回答が特に多くなりました。
- ・事業者では、「大規模構造物」、「水辺」、「大規模団地」の順となり、この3項目の回答が特に多くなりました。
- ・総合的に見ると、三郷市の景観は、自然系の「水辺」や「緑」、「田園風景」、施設系の「大規模構造物」、「大規模団地」のイメージが強いと言えます。特に「大規模構造物」と「大規模団地」は三郷市ならではの景観の特徴であると言えます。

②市の景観に対する評価（一般・中学生・事業者）

- ・一般では「良い」や「どちらかというが良い」という肯定的評価が2割強、「どちらかという良くない」や「良くない」という否定的評価が5割弱となり、否定的評価が上回りました。
- ・中学生では「良い」や「どちらかというが良い」という肯定的評価が5割弱、「どち

らかという良くない」や「良くない」という否定的評価が2割弱となり、肯定的評価が上回りました。

- ・事業者では「良い」や「どちらかというが良い」という肯定的評価が2割弱、「どちらかという良くない」や「良くない」という否定的評価が5割強となり、ほぼ一般と同様の傾向を示しました。
- ・総合的に見ると、中学生の評価は高くなりましたが、一般及び事業者の評価は低く、この評価を高めていくことが今後の課題と言えます。

③居住（所在）地域の景観に対する評価（一般・事業者）

- ・一般では「良い」や「どちらかというが良い」という肯定的評価が3割強、「どちらかという良くない」や「良くない」という否定的評価が4割となり、肯定的評価が上回りました。
- ・事業者では「良い」や「どちらかというが良い」という肯定的評価が3割弱、「どちらかという良くない」や「良くない」という否定的評価が4割弱となり、ほぼ一般と同様の傾向を示しました。
- ・市全体の評価と比較すると、居住（所在）地域の景観に対する評価は高くなっていると言えます。

④10年前との比較（一般・事業者）

- ・一般では「以前も今も良い」や「以前より良くなってきた」という肯定的意見が4割強、「以前より悪くなってきた」や「以前も今も悪い」という否定的意見が3割弱となり、肯定的意見が上回りました。
- ・事業者では「以前も今も良い」や「以前より良くなってきた」という肯定的意見が5割弱、「以前より悪くなってきた」や「以前も今も悪い」という否定的意見が3割となり、ほぼ一般と同様の傾向を示しました。
- ・共に肯定的意見が否定的意見を上回りましたが、否定的意見が相当数ありました。10年後にどれだけ肯定的意見を増やし、否定的意見を減らせるかが今後の目標となります。

⑤好きな景観（一般・中学生・事業者）

- ・一般では「みさと公園」、「文化会館」、「江戸川」、「ピアラシティみさと」、「戸ヶ崎香取神社」の順となり、この5項目の回答が特に多くなりました。
- ・中学生では、「みさと公園」、「ピアラシティみさと」、「戸ヶ崎香取神社」、「文化会館」の順となり、この4項目の回答が特に多くなりました。
- ・事業者では、「みさと公園」、「戸ヶ崎香取神社」、「文化会館」、「ピアラシティみさと」、「江戸川」、「三郷インターチェンジ」の順となり、この6項目の回答が特に多くなりました。
- ・どの調査においても好きな景観の傾向は類似しており、「みさと公園」は全てで1位となっています。
- ・歴史文化系では、「戸ヶ崎香取神社」が特に多くなりましたが、他の選択肢は回答が多くありませんでした。
- ・自然系では、「みさと公園」と「江戸川」の人气が高くなりました。

- ・公共施設系では、「文化会館」の人气が高く、「総合体育館」、「三郷インターチェンジ」、「三郷中央駅駅舎」などの回答も多くなりました。
- ・市街地系では「ピアシティみさと」が特に多く、「パークフィールドみさと」、「三郷中央駅周辺」、「みさと団地」、「早稲田団地」、「早稲田中央通り沿道」などの回答も多くなりました。
- ・総合的に見ると、歴史文化系、自然系、公共施設系、市街地系、全ての要素で良好な景観資源を有していると言えます。全体として、歴史文化系の景観資源が弱く、既成市街地の景観を挙げた人があまり多くなかったことが課題と言えます。

⑥景観の問題点（一般・中学生・事業者）

- ・一般では「水辺・河川敷」、「ゴミ・廃材」、「潤い・活力の不足」の順となり、この3項目の回答が特に多くなりました。
- ・中学生では「水辺・河川敷」、「ゴミ・廃材」、「放置自転車・違法駐車」の順となり、この3項目の回答が特に多くなりました。
- ・事業者では、「水辺・河川敷」、「ゴミ・廃材」の順となり、この2項目の回答が特に多くなりました。
- ・市の景観イメージとしても多く挙げられた、「水辺・河川敷」に問題があるという意見が多く、「ゴミ・廃材」や「放置自転車・違法駐車」と合わせ、モラル向上とそれに合わせまちの美化を図ることが一番の課題となっています。
- ・市街地の施設・基盤関連では、「緑の不足」や「まち並みの不調和」、「電線・電柱・鉄塔」が多く挙げられました。

⑦景観づくりへの考え（一般・事業者）

- ・一般では、「規制誘導が必要」と「緩やかな誘導」の誘導支持派が約80%となり、「できるだけ規制しない」と「規制は不要」の誘導回避派は約15%となりました。
- ・事業者では、「規制誘導が必要」と「緩やかな誘導」の誘導支持派は約75%となり、「できるだけ規制しない」と「規制は不要」の誘導回避派は約25%となりました。
- ・一般、事業者共に、ある程度の景観誘導は必要だと認識している人が多いという結果となりました。

⑧景観づくり推進のために重要なこと（一般・中学生・事業者）

- ・一般では、「目標・方針づくり」、「拠点での整備」、「建築物等の保全」、「公共事業での配慮」の順となりました。一方、「表彰」、「窓口等の設置」、「学習機会の提供」は比較的少なくなりました。
- ・中学生では、「拠点での整備」、「表彰」、「建築物等の保全」、「目標・方針づくり」の順になりましたが、突出した項目はありませんでした。
- ・事業者も一般と同様の傾向を示しました。
- ・全体として、回答が集中した特定の項目はありませんでした。

⑨景観づくりへの参加（一般・事業者）

- ・一般では、「マナーを守る」、「清掃・美化活動」、「花や緑を増やす」の順となり、この3項目の回答が特に多くなりました。
- ・事業者は一般市民アンケートとは別項目での選択肢でしたが、「地域の景観づくりへの参加」、「周辺へのうるおいづくり」、「周辺のまち並みとの調和」、「派手な色彩・光の不使用」の順となりました。

⑩建築物等への望ましい制限（事業者）

- ・「緑化」、「高さや規模の制限」、「目立つ色彩の制限」、「建築物の配置の制限」の順となりました。
- ・「制限は不要」とした事業者はいませんでした。

⑪屋外広告物への望ましい制限（事業者）

- ・「広告物の大きさの制限」、「目立つ色彩の制限」、「ネオンや光の点滅の制限」の順となりました。
- ・「看板デザインの統一」への回答は2割弱で、「制限は不要」は1割強となりました。

⑫アンケート調査の順位一覧表

主な設問	区分	回答の順位（それぞれの割合は異なるため、同じ順位でも重み付けは異なります）					
		1	2	3	4	5	備考
■市の景観イメージ	●一般	・水辺	・大規模構造物	・大規模団地	・田園風景	・緑	
	●中学生	・緑	・大規模構造物	・田園風景	・大規模団地	・水辺	
	●事業者	・大規模構造物	・水辺	・大規模団地	・田園風景	・緑	
■景観に対する関心	●一般	・関心がある	・ある程度関心がある	・あまり関心がない	・関心がない※	—	※ごこわすか
	●事業者	・関心がある	・ある程度関心がある	・あまり関心がない	・関心がない※	—	※ごこわすか
■市の景観に対する評価	●一般	・どちらともいえない	・どちらかというとうと良くない	・良くない	・どちらかというとうと良い	・良い	
	●中学生	・どちらともいえない	・どちらかというとうと良い	・良い	・どちらかというとうと良くない	・良くない	
	●事業者	・どちらかというとうと良くない	・どちらともいえない	・良くない	・どちらかというとうと良い	・良い	
■10年前との比較	●一般	・以前より良くなってきた	・変わらない	・以前より悪くなってきた	・以前も今も悪い	・以前も今も良い	
	●事業者	・以前より良くなってきた	・以前より悪くなってきた	・変わらない	・以前も今も良い	・以前も今も悪い	
■好きな景観	●一般	・みさと公園	・文化会館	・江戸川	・ピアラシティみさと	・戸ヶ崎香取神社	
	●中学生	・みさと公園	・ピアラシティみさと	・戸ヶ崎香取神社	・文化会館	・総合体育館	
	●事業者	・みさと公園	・戸ヶ崎香取神社	・文化会館	・江戸川 ・ピアラシティみさと		
■景観の問題点	●一般	・水辺・河川敷	・ゴミ・廃材	・潤い・活力の不足	・緑の不足	・まち並みの不調和	
	●中学生	・水辺・河川敷	・ゴミ・廃材	・放置自転車・違法駐車	・緑の不足	・自然環境破壊	
	●事業者	・水辺・河川敷	・ゴミ・廃材	・荒廃農地 ・潤い・活力の不足 ・自然環境破壊			
■景観づくりへの考え	●一般	・緩やかな誘導	・規制誘導が必要	・できるだけ規制しない	・規制は不要※	—	※ごこわすか
	●事業者	・緩やかな誘導	・規制誘導が必要	・できるだけ規制しない	・規制は不要※	—	※ごこわすか
■景観づくり推進のために重要なこと	●一般	・目標・方針づくり	・拠点での整備	・建築物等の保全	・公共事業での配慮	・基準づくりと誘導	
	●中学生	・拠点での整備	・表彰	・建築物等の保全	・目標・方針づくり	・意見交換等の場づくり	
	●事業者	・目標・方針づくり	・拠点での整備	・公共事業での配慮	・建築物等の保全	・基準づくりと誘導 ・支援制度の充実	
■景観づくりへの参加注)回答項目は異なる	●一般	・マナーを守る	・清掃・美化活動	・花や緑を増やす	・ルールづくりへの参加	・自宅の調和	
	●事業者	・周辺のまち並みとの調和	・派手な色彩・光の不使用	・地域の景観づくりへの参加・協力	・周辺への潤いづくり	・特にない	
■建築物等への望ましい制限	●事業者	・緑化	・高さや規模の制限	・目立つ色彩の制限	・建築物の配置の制限	—	
■屋外広告物への望ましい制限	●事業者	・広告物の大きさの制限	・目立つ色彩の制限	・ネオンや光の点滅の制限	・看板デザインの統一	・制限は不要	

2 職員景観ワークショップ

市職員の景観に対する意見を集約するため、市内の景観ウォッチングと景観ワークショップを行いました。ワークショップにおいては、まず「良い」または「悪い（問題・課題）」景観の意見集約を行い、次に、これらの「活かし方」や「改善方法」について意見集約を行いました。その結果を次にまとめます。

(1) 良いまたは悪い（問題・課題）と感じている景観

1) 良いと感じている景観

■水辺や緑の景観

●水辺や緑、公園

- ・水辺との共存、橋と水面、自然に近い素材の使用、人工物と生物、花・実のなる木の植栽など、意図された水辺整備が良好
- ・二郷半用水路や下第二大場川、三郷放水路など、水と花・緑と緑道が調和した水辺環境
- ・中川や江戸川河川敷の自然風景
- ・早稲田団地やみさと団地、さつき平など、緑の多さとそのゆとり空間
- ・手入れされている生垣、植栽、個人の草花と樹林空間の共有化（市民開放）
- ・寺院と一体となったシンボル樹（安養院の大銀杏）
- ・早稲田公園や団地内公園、みさと公園、におどり公園など、緑と広々とした空間を有する公園

●田園

- ・広々とし、おだやかな水田風景
- ・美しい農家の屋敷林、または屋敷林と大場川が一体となった風景

●道路の緑

- ・常磐自動車道沿道の樹林や法面の立体的緑化、国道 298 号沿いの市及び市民協働による植栽
- ・早稲田地区の住宅地や中央通り、さつき平などの街路樹

■市街地の景観

●まち並み

- ・早稲田地区やエコライフタウンみさと公園での高さや屋根、色彩、生垣が統一され調和したまち並み（建築協定、地区計画、緑地協定）
- ・早稲田地区やさつき平、みさと団地など、計画的に整備された中・高層住宅群

●建築物等

- ・三郷中央駅の駅舎
- ・高さが整っている、道路から後退している住宅街
- ・建物の大きさに合わせた空間、またはゆとりが感じられる用地

●色彩（落ち着き性など）

- ・みさと団地の住宅や早稲田地区の戸建住宅、三郷中央地区及びエコライフタウンみさと公園の住宅など、調和のとれた色彩
- ・統一された色、屋根の形状

●道路

- ・自転車専用道や歩道が整備された道路（早稲田中央通り、早稲田団地内道路、三郷中央駅前など）
- ・電柱や電線のない道路（さつき平中央道路、三郷中央駅周辺など）

■集落・歴史的な景観

- ・板塀や石蔵、民家の土蔵、旧道のまち並みなど、趣のあるたたずまい、古さや歴史を感じられるまち（彦成地区）
- ・寺院や郷土資料館など歴史的建築物（地権者と市との協力も）

■その他の景観

- ・高層建築物が少なく広い空、新三郷駅の橋上の見晴らし
- ・今後において良好な景観形成の可能性を感じる三郷中央駅周辺
- ・良好な案内サインや良好に配置されたゴミ置場（さつき平、みさと団地など）

2) 悪い（問題・課題）と感じている景観

■水辺や緑の景観

●水辺や緑

- ・水の汚れ、臭いなどのある水路や河川
- ・未整備や維持管理の不十分な水辺
- ・殺風景な河川敷
- ・水路に見られるフェンスや排水管、三面張り
- ・手入れや維持管理が不十分な植栽
- ・三郷市全体において緑が少ない
- ・社寺における樹木の減少
- ・大通りに大きな並木道がない

●田園

- ・耕作されていない農地や点在する農地
- ・宅地化の進展や農地の虫喰い状態により田園景観が阻害
- ・農地内にある資材（コンテナ）置場や処理施設
- ・市街化調整区域やインターチェンジ周辺の残土、資材置場など

■市街地の景観

●まち並み

- ・連続性のないまち並み
- ・通りに面した圧迫感のある壁や塀
- ・高さが不揃いの住宅街
- ・密集や隣地ぎりぎりの建築物
- ・土地利用の混在化による不統一な景観

●建築物等

- ・原色に近い、派手、または暗い色彩の建築物（個人の趣味と周辺との調和、商業地ではやむを得ない面もあることが課題）
- ・原色に近い、派手な広告物、自動販売機
- ・公共施設の特色がなさ過ぎる色彩（多くが白系）
- ・公共施設での青系の色使い
- ・工業施設の周囲は、緩衝物がなく建物が丸見えで緑が少ない、また道路ぎりぎりまで迫り圧迫感がある

●サイン・広告物等

- ・商業地における不統一で派手、または大き過ぎるサイン・広告物、ネオン照明
- ・統一感のない公共サイン（デザインガイドラインの推進が不十分）
- ・アンテナ

●道路

- ・虫喰い状の都市計画道路
- ・不十分な整備や維持管理（ガードレール、側溝蓋、雑草、フェンスなど）
- ・一部の駅前や主要道路、住宅地の電柱や電線、電線の横断
- ・一部の電柱や照明器具、信号柱の色彩

●ゴミ・維持管理

- ・道路端にあるゴミ置場と道路へのゴミ等の放置
- ・手入れのされていない生垣や緑

■集落・歴史的な景観

- ・古い集落に不調和な軽量ブロックや塀

■その他の景観

- ・公道への放置物
- ・集合住宅ベランダの洗濯物干し

3) その他（良い・悪いどちらでもない）と感じている景観

■水辺や緑

- ・電柱や電線、高架鉄塔
- ・自然とふれあいと安全性
- ・素材と人工素材
- ・大規模な公共施設用地（未利用部分）
- ・緑道・公園施設の維持管理の必要性

■建築物等

- ・外環道路の高速部のデザインはどうか
- ・敷地の狭さ
- ・石垣、ブロック塀、生垣、その時々流行

(2) 良いまたは問題・課題と感じている景観の活かし方・改善方法

1) 良い景観の活かし方

■水辺と緑の景観

●水辺と緑の保全、育成等の推進

- ・二郷半緑道の保全と整備の促進
- ・水辺、緑の市民参加による清掃、保全活動
- ・シンボル樹木の保全と維持管理の促進（「みさときらっと光る景観重要樹木」として選定）
- ・江戸川、中川等河川景観の保全と景観軸づくり
- ・水辺と一体となった市街地の開発（川沿いのオープンテラス）
- ・社寺等の緑の復元（市からの植樹幹旋等）
- ・外環「花いっぱい運動」の拡充
- ・花や緑を増やす緑化活動を促進
- ・水を活かしたイベントの開催（レガッタ、カヌーの大会）

●田園風景の維持・保全等

- ・まとまった田園エリアの保全（田園風景保全地区の指定）
- ・農地景観の保全
- ・屋敷林の維持・保存

●啓発

- ・景観活動の良好な自治会への表彰制度
- ・屋敷林保全のPRや援助の充実（PR：写真撮影会・コンテスト、援助：管理費用の補助・手伝い）
- ・「景観100選」「景観ベスト20」などで選定
- ・広報で良い景観を紹介（シリーズ化）
- ・生垣を増やすための助成制度のPR促進

■市街地・集落の景観

●道路と駅前の整備、魅力付け

- ・幹線道路の早期整備
- ・安全で安心な歩道空間の確保
- ・魅力的な駅前づくり（途中下車したくなるような駅前）

●歴史的建造物の保全

- ・歴史的建造物の保全に関する補助制度化

●誘導策

- ・良好な景観に対してのモデル地区指定
- ・建物の統一した形態が保全されている地区での「地区計画」指定化
- ・開発事業者によるシンボルツリーの植樹化（開発事業と植樹がセット）
- ・「建築協定」「緑化協定」の活用
- ・景観づくり推進のため、土地毎に目標・方針を設定
- ・ペナルティ制度と合わせた「地区計画100%」面積目標設定

●啓発

- ・古い集落（彦成）を路線バスでPR

■建築物等の景観

●建築物等の保全と緑化推進

- ・落ち着いた歴史的な寺院等の保全
- ・緑化の推進（道路沿いや外周部）
- ・中高層住宅の壁面緑化の推進
- ・建築物間の空き地緑化の推進

●啓発

- ・良好な景観づくりに貢献した建物への表彰制度化

■その他の景観

●啓発と募金づくり

- ・該当各課による良い景観のマップづくり（水辺景観マップ、まち並み景観マップ、公園景観マップ、田園景観マップ、など）
- ・景観行政と観光行政の一体化（「住んでよし、訪ねてよし」の景観観光）
- ・市民が景観への関心を深めるためのきっかけづくり（広報等での景観啓発）
- ・景観づくりに配慮した団体や個人を表彰する制度づくり
- ・景観意識の高揚のため、若年層からの郷土意識づくり（愛着を高めるため、「私たちの三郷市」副教材の景観面を視点としたビデオ作成）
- ・三郷並木道募金の設立化（緑化への寄付活動）

2) よりよい景観づくりに向けたアイデア

■水と緑の景観

●水辺と緑の改善、整備等

- ・下水や河川の水質改善、下水道の整備促進
- ・大場川や第二大場川の水質浄化
- ・水路の水を1年を通して流れるように、第二大場川へ中川終末処理場の処理水を現状より多く流し水質を改善
- ・微生物活用（家庭内、水路）や水生生物の働きの利用により、排水の浄化
- ・良い香りのする花の植栽による川の臭いの改善（キンモクセイ・ジンチョウゲ・フリージア・ジャスミンなど）
- ・河川のしゅんせつと親水護岸の整備
- ・河川を景観軸とした緑道整備の推進
- ・川、道路、公園の清掃を市民参加で実施（ゴミ・水の汚れ）
- ・河川や道路沿いのゴミを減らすために定期的にクリーン作戦を実施
- ・ふたかけ小水路での緑化空間の創設

●田園用地の集約、活用等

- ・農地の集約
- ・休耕農地の市民農園への活用
- ・残土、資材置場を美しくペイントした塀等で遮蔽（ルールづくり）

●土地利用の転換と誘導策

- ・放置された農地や資材置場の増加対策として、観光農園への転換を促す。合わせて、市の助成制度の創設や税負担の減少、人的な支援体制づくり、融資制度の充実
- ・残土・資材置場対策として、盛土や囲い、高さの規制などの条例化

●啓発

- ・河川美化に関するPRの実施

■市街地・集落の景観

●ゴミと道路付帯施設の改善

- ・路上のゴミ置等の改善策として、各家庭にゴミ処理機設置の補助を
- ・路上のゴミ置場を止め、専用の箱（かくす物）に変える
- ・ゴミ投棄の改善に向け、商品販売店の事業者と協働での取り組みが重要
- ・道路のガードレールは、自転車・歩行者が安心・安全に通行できるように（美観・環境・ゴミに対する感性、気持ちの余裕が生まれる）

●住工共存地区の景観づくり

- ・住工共存地区は、地域産業に活力を与え、市民に対しその存在をアピールするため、仕事の風景と生活が調和した景観づくりを検討していく

●色彩・サインの調和、統一

- ・まち並みの色合いは調和のとれたものに（美しいまちを紹介して意識改革を）
- ・照明器具、公共サイン等のデザイン、色彩等の統一
- ・公共案内板の設置

●誘導策

- ・都市基盤の整備に際する歩行者専用緑道の整備の義務化
- ・まち並み景観を統一・調和した地区計画や建築協定の推進
- ・建築ガイドラインによる建築物のデザインや色彩の誘導
- ・エリアを定めたサイン等の色彩制限（三郷中央地区など）
- ・用途地域単位による建築物の色彩の基準作成
- ・サイン・広告物等の法規制の強化
- ・公共サインのガイドライン策定
- ・広告物の大きさや色、道路空間使用の規制

●啓発

- ・景観表彰制度

■建築物等の景観

●公共施設の改善

- ・公共施設に関する建築デザインや色彩など、設計指針づくり
- ・公共建築物での屋上及び壁面緑化の推進

- ・公共建築物は、コンクリートむき出しをなるべく止め自然素材を使用
- ・公共施設のネットフェンスをデザインフェンスへ変更

●誘導策

- ・建築物の色彩規制
- ・原色（高彩度）を使用して外壁等をつくる場合は、「アクセントカラー」とする
- ・違法広告物の撤去（市民参加）
- ・景観に配慮した外構づくりへと指導
- ・軽量ブロック塀だけの禁止。植栽のすすめ
- ・塀やブロックで囲まれた敷地については植栽で囲むように誘導
- ・地区計画、特定街区などの導入推進
- ・緑化と色彩の調和
- ・中高層建築物の建設主に対しする屋上緑化や壁面緑化の義務付け

■その他の景観

●体制づくりと啓発

- ・まち並みデザイナーを雇用し、開発のときに指導
- ・まちづくりデザイン審議会を設立（一定規模以上の開発はこの審議会の許可が必要）
- ・小・中学校でのビオトープ整備と自然保護の重要性について学習の実施

3) 景観づくりのテーマ

前記の「活かし方」と「改善方法」によって景観づくりを進める場合に、「どのような景観づくりのテーマが考えられるか」を意見集約したものが次の表です。これらは、今後の「景観形成の目標設定」の手がかりとなるものです。

	A案	B案
■水と緑の景観づくりのテーマ	●水と緑が調和した市民空間の形成	●三郷らしさを守り、水と緑を活かす
■市街地・集落の景観づくりのテーマ	●地域の特色をいかしたまちのデザイン・形成	●三郷らしさを育て、創る
■建築物等の景観づくりのテーマ	●街区と色彩が調和した空間形成	
■その他の景観づくりのテーマ	●市民（子供も）に対する景観意識の啓発（景観はまちの財産） ●景観意識という種まき	●継続は力なり